

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成30年7月12日(2018.7.12)

【公開番号】特開2018-23902(P2018-23902A)

【公開日】平成30年2月15日(2018.2.15)

【年通号数】公開・登録公報2018-006

【出願番号】特願2017-221486(P2017-221486)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成30年5月25日(2018.5.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技領域が形成された遊技盤と、前記遊技盤の遊技領域を視認可能となるように遊技窓を扉枠に備えた遊技機において、

前記遊技領域を流下する遊技球が前記遊技領域に設けられている各種入賞口に入球したことに基づいて、賞球として払い出す遊技球の球数を規定する賞球コマンドを出力する主制御手段と、

該主制御手段からの前記賞球コマンドに基づいて賞球として遊技球を払い出す賞球装置を制御する払出制御手段と、

外部と電気的に接続され各種情報を伝えることができる複数の端子を並べた外部出力手段を備え、

前記賞球装置は、前記払出制御手段からの駆動信号により遊技球を払出すものであり、所定の計数スイッチにより、前記払出す遊技球を検出し、

前記主制御手段は、

前記遊技領域を流下する遊技球が前記各種入賞口へ入球したことをに基づいて、賞球として前記賞球装置により払い出される予定の遊技球の球数が予め定めた球数に達するごとに主制御賞球数予定情報出力信号として前記外部出力手段へ出力するべく演算を行う主制御マイクロプロセッサと、

前記賞球コマンドを前記払出制御手段へ出力する賞球コマンド出力制御手段と、を備え、

前記払出制御手段は、

各種信号を出力することができる払出制御側出力回路と、

前記賞球装置の備える前記計数スイッチが検出した遊技球の球数が予め定めた球数に達するごとに払出制御賞球数情報出力信号として前記外部出力手段へ出力する払出制御賞球数情報出力制御手段と、

前記扉枠の開放が検出された旨を開放中情報信号として前記外部出力手段へ出力する開放中情報出力制御手段と、を含み、

前記外部出力手段において前記払出制御賞球数情報出力信号の前記端子と前記主制御賞

球数予定情報出力信号の前記端子は隣り合わない離れた位置に配置され、

前記払出制御側出力回路には、リセット機能を有する出力回路とリセット機能を有しない出力回路とがあり、

前記払出制御賞球数情報出力信号は、前記払出制御賞球数情報出力制御手段により前記払出制御側出力回路の前記リセット機能を有する出力回路から出力され、

前記開放中情報信号は前記開放中情報出力制御手段により前記払出制御側出力回路の前記リセット機能を有しない出力回路から出力され、

前記払出制御側出力回路の前記リセット機能を有する出力回路は、復電時にリセットされること

を特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

従来より、払出装置（賞球装置）から賞球として払い出される遊技球が払出装置に備える計数スイッチにより検出されることにより実際に払い出された遊技球の球数が所定の球数に達するごとにその旨を、外部端子板（外部出力手段）を介して、ホールコンピュータへ出力するという遊技機が提案されている（例えば、特許文献1）。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

【特許文献1】特開2013-081862号公報（段落[0068]、及び図12）

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

ところが、特許文献1に記載される遊技機においては、大当たりが発生しているときに、島設備からの遊技球が何らかのトラブルにより供給されなくなると、払出装置から賞球として遊技球を遊技者に払い出すことができなくなるため、遊技者は、ホールの店員等を呼んでそのトラブルを解消させることとなる。このトラブルが解消して、この時点において大当たりが終了しているときには、特許文献1に記載される遊技機においては、大当たりにおいて払い出されなかった遊技球を払出装置から賞球として次々に払い出すこととなるため、払出装置から賞球として払い出される遊技球の球数が所定の球数に達するごとにその旨を外部端子板を介してホールコンピュータへ出力することとなって、遊技機の遊技状態と、この遊技状態における遊技球が払い出された球数との関係をホールコンピュータが正確に把握することできなくなるという問題があった。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、このような事情に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、遊

技機の遊技状態と、遊技状態における払い出される遊技球の球数との関係をホールコンピュータが正確に把握することができる遊技機を提供することにある。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

(解決手段1)

遊技領域が形成された遊技盤と、前記遊技盤の遊技領域を視認可能となるように遊技窓を扉枠に備えた遊技機において、前記遊技領域を流下する遊技球が前記遊技領域に設けられている各種入賞口に入球したことに基づいて、賞球として払い出す遊技球の球数を規定する賞球コマンドを出力する主制御手段と、該主制御手段からの前記賞球コマンドに基づいて賞球として遊技球を払い出す賞球装置を制御する払出手制御手段と、外部と電気的に接続され各種情報を伝えることができる複数の端子を並べた外部出力手段を備え、前記賞球装置は、前記払出手制御手段からの駆動信号により遊技球を払出手するものであり、所定の計数スイッチにより、前記払出手す遊技球を検出し、前記主制御手段は、前記遊技領域を流下する遊技球が前記各種入賞口へ入球したことに基づいて、賞球として前記賞球装置によりに払い出される予定の遊技球の球数が予め定めた球数に達するごとに主制御賞球数予定情報出力信号として前記外部出力手段へ出力するべく演算を行う主制御マイクロプロセッサと、前記賞球コマンドを前記払出手制御手段へ出力する賞球コマンド出力制御手段と、を備え、前記払出手制御手段は、各種信号を出力することができる払出手制御側出力回路と、前記賞球装置の備える前記計数スイッチが検出した遊技球の球数が予め定めた球数に達するごとに払出手制御賞球数情報出力信号として前記外部出力手段へ出力する払出手制御賞球数情報出力制御手段と、前記扉枠の開放が検出された旨を開放中情報信号として前記外部出力手段へ出力する開放中情報出力制御手段と、を含み、前記外部出力手段において前記払出手制御賞球数情報出力信号の前記端子と前記主制御賞球数予定情報出力信号の前記端子は隣り合わない離れた位置に配置され、前記払出手制御側出力回路には、リセット機能を有する出力回路とリセット機能を有しない出力回路とがあり、前記払出手制御賞球数情報出力信号は、前記払出手制御賞球数情報出力制御手段により前記払出手制御側出力回路の前記リセット機能を有する出力回路から出力され、前記開放中情報信号は前記開放中情報出力制御手段により前記払出手制御側出力回路の前記リセット機能を有しない出力回路から出力され、前記払出手制御側出力回路の前記リセット機能を有する出力回路は、復電時にリセットされることを特徴とする遊技機。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

本発明の遊技機においては、遊技機の遊技状態と、遊技状態における払い出される遊技球の球数との関係をホールコンピュータが正確に把握することができる。